



消防団たずね歩き

情熱をもって山火事防止

東灘消防団は本団ほか10分団で構成され、約150人の団員が日夜活動をしています。活動範囲は、北は六甲山頂から南は六甲アイランドコンテナバースまで縦に長く、林野部、市街地、工業地帯、沿岸部、人工島と多様な地域構成になっています。市街地の消防団ではありますが、実は東灘区の約半分を林野部が占めており、山火事防止活動がひとつの大きなテーマになっています。

平成21年4月の西おたふく山の火災では、2つの事に気づかされました。1つ目は、火災現場で火種が残って無いか確認作業をしているうちに日没を迎え、ふと回りを見渡すとうっすらとした火種のような光が自分を囲んでいるように見え、既に危険ではないとわかっている一瞬ドキッとしました。この時、火災現場の安全管理の重要性を

痛感しました。2つ目は、10トン水槽車による給水で、そこからポンプ車2台を經由し400mを超すホース延長および高低差のある高い現場への送水でしたが、使える水が市街地とは比べ物にならないほど少なく、限られていることを目の当たりにして、山火事は絶対に起こしてはならない、山火事の防止活動は非常に重要で疎かにしてはならないものだと強く感じました。

これから暖かくなりハイカーが増えてくる時期です。東灘消防団では山火事運動期間である3月に毎週、林野火災警戒パトロールを実施し、ハイカーに山火事防止の呼びかけをおこなっています。先の山火事もこの時期に発生しているので、これまで以上に情熱を持って取り組みたいと思います。

(東灘消防団 本庄深江分団 深山逸平)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

